

※地域おこし協力隊とは?

都市から意欲ある人材(ヨソモノ・ワカモノ)を地方へ誘致し、一定期間(最長3年間)地域に居住し、地域のブランドや地場産品の開発・PR等の地域おこし支援や、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を目的とする国の制度です。長門市では現在6人の隊員が活動中です。



仙崎のみなさま、新年明けましておめでとうございます。

長門市地域おこし協力隊 仙崎地区担当の中田です。

昨年は中間支援団体である仙崎振興会を始め、多くの方にご協力頂いて、活動を進めていくことができました。厚く御礼を申し上げます。

2017年11月に着任して、早くも1年2ヶ月が経ちました。

2018年は「地域を知る」事を第一に様々な行事に参加させて頂きました。

そんな中で、仙崎の方の温かい心に触れ、仙崎がますます好きになりました。

2019年はそんな地域の方と共に、中田カラーを織り交ぜた地域協力活動を展開していきたいと思っています。

協力隊としての期間は2年を切りましたが、退任後も仙崎への定住を視野に活動してまいります。今後も、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年の活動・2019年に取り組みたいこと

◎仙崎軒先ツバメMARKET

2018年4月に道の駅センザキッチンランドオープンし、観光客が集中する中、GWにみずび通りの軒先市「仙崎軒先ツバメMARKET」を企画しました。2019年も開催に向けて準備中です。昨年より規模を拡大し、観光客へのPRを積極的に行っていきたいと思っています。



◎マリンスポーツによる仙崎の魅力発信・交流促進

2018年7月開催の長門ヨットフェスタのアクティビティとして「SUP」というマリンスポーツの体験コーナーを設け、仙崎の海の魅力を伝えました。また、カフェ「浜茶屋三貴」とタイアップし、「SUP」を通じて交流促進を行いました。

2019年は7月頃から定期的に体験会を開催する予定です。(さわやか海岸、青海島など)



◎自主企画:リヤカー屋台をDIY、活用

・仙崎地区を訪れる観光客へのMAP配布等の情報発信による周遊促進

・今後の活動に活かすための観光客の動線調査

・飲食店開業も見据えたマーケティングを目的とし、

リヤカー屋台の営業を行っています。(ホットサンドとコーヒーの販売)

地元の方の集う憩いの場になればと考えています。

今後もこれらの活動により情報発信・交流促進に繋げていきます。よろしく願いいたします。



屋台1月の出店(10:00~15:00)

※毎週火曜日 仙崎駅前

屋内休憩スペース有(8、15、22、29日)

9(水) 森本時計店

14(月) 仙崎郵便局

21(月) 仙崎公民館

30(水) 山口銀行仙崎支店



